



至誠の泉

甲斐市立双葉中学校
学校だより
発行 校長 輿石 信
令和6年度 第1号
2024. 5. 7

授業参観・PTA総会・学年部会ありがとうございました。

5月2日(木)の午後、今年度初めての授業参観・PTA総会・学年部会を行いました。平日にもかかわらず350名を超える保護者の方に来校していただき、子どもたちの学校生活の様子を見ていただきました。仕事等でお忙しい中、多くの方にご参観いただき本当にうれしい限りです。同時に、本校に寄せる期待や関心の高さを改めて実感し、一人一人の子どもにとって日々の学校生活が有意義なものとなるよう努めていかねばならないという思いを新たにしました。その後の学年部会にも多くの保護者の方に残っていただきました。学年部会では、学年主任・学級担任から学年・学級の経営方針や校外行事、子どもたちの様子等について説明し、保護者の方からもご意見やご感想をいただきました。保護者の方と対面で話し合う場を持たせたことは大変貴重な機会となりました。ありがとうございました。



さて、令和6年度がスタートし1ヶ月が経過しました。本校においては、新型コロナウイルスやインフルエンザの影響もなく、子どもたちは元気に登校し、日々、授業や部活動等に励んでいます。私も時間を見つけては、学習の様子を参観しています。どの学級も、4月当初に比べ、先生や友だち同士の距離が縮まり、親和的な雰囲気の中で授業が進められています。



PTA総会の間でもお話をさせていただきましたが、中学時代は青年前期にあたり、「第二の誕生」と呼ばれています。これは、親から生まれたことを「第一の誕生」とすることに対し、自分で自分を生み直すことを指し、今まで親から生まれて疑問なく育ってきた自分を見つめ、これからの人生をどう生きようかと自覚して捉え直すことを言います。「なぜ生まれたのか」、「何のために生きているのか」、「どうして生きていったらいいのか」という、答えのない問いに向き合い始めるのがこの時期です。この時期を過ごす子どもたちは言いようのない不安や動揺に

襲われることもあります。そんな時に、私たち大人がしっかりとその思いに耳を傾け、受け止める存在であり続けることが大切だと思っています。そうした「安全基地」があってこそ、子どもは試行錯誤しながらも自分の進むべき道を見つけてやがて自分の力で歩き出していきます。ぜひ、各ご家庭が子どもにとって「第一の安全基地」であってほしいと思います。私たち学校も、「第二の安全基地」になれるように努めていきたいと思っています。家庭と学校が子どもの育ちに関わるパートナーとして、何か困ったときには、子どもを真ん中に置いて知恵を合わせていっしょに考えていけたらと思っています。改めまして、1年間よろしく願いいたします。

第1回学校運営協議会を行いました。

本年度から甲斐市立小中学校全校がコミュニティ・スクール（学校運営協議会をもつ学校）になりました。

この取組は、学校が地域住民や保護者と教育目標を共有し、組織的・継続的に連携しながら「地域とともにある学校」、「地域に開かれた特色ある学校」を実現していくための有効な手段として、法的に位置づけられ、国でもその推進を図っているものです。

本校では、市の学校運営協議会規則に基づき9名の委員の任命を受け、第1回学校運営協議会を5月2日(木)に行いました。その中で、学校運営協議会要綱の承認、正副会長の選出、学校経営方針の承認の他、学校の状況についての説明を行い、その後、学校運営に関して協議を行いました。保護者、地域、学校それぞれの立場から、有意義な意見交換ができました。第2回は10月に予定しており、上半期の本校の状況や来年度のコミュニティ・スクールの方向性、学校支援の方策等について協議を行うことになっています。委員を以下に紹介（敬称略）します。

保護者代表(PTA会長)	保坂 得孝	地域代表(識見者)	柳本 博美	教職員代表(校長)	輿石 信
保護者代表(PTA副会長)	佐藤 玉三	地域代表(識見者)	長谷部 集	教職員代表(教頭)	保坂 由起
地域代表(識見者)	宮坂雄次郎	地域代表(識見者)	高橋 幸子	教職員代表(教務主任)	深沢 俊一